

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第5回 鈴鹿市立清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年12月12日(金) 15:00 ～ 16:00

2 場 所 清和小学校図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

4 協議内容

(1) 地域学習について

4・5年生が地域の行事、歴史等について知る活動を実施。計画段階から当日まで、地域のたくさんの方の協力を得ることができた。関わってくださった委員の方から「参加した子どもたちが、たくさん質問をしてくれた。とても熱心で、感心した。」との意見もいただいた。

(2) 学校関係者評価書について

学校の取組と経過、進捗状況等を共有。それをもとに、関係者評価を委員に依頼。

(情報共有後の交流で出された話題)

- ・下校の見守りをしている。1学期はあいさつがあまりできていなかった子が、2学期、見違えるほどあいさつができるようになってきている。
- ・放課後児童クラブに低学年の子どもたちが大勢参加している。とても元気で、サポーターは子どもたちから元気をもらっている。
- ・民生委員の3年の任期が終わり、メンバーが新しくなった。働いていて、朝のあいさつ運動には来られない方もおられる。できるときに、できる人で続けていきたいと思っている。
- ・「学校始業後の時間に歩いている子を見かけた。学校に連絡した方がいいのか」といった問い合わせをいただくことがある。どこまで連絡したらいいのか。
- ・他小学校のボランティアに参加している。卒業後も、中学校に行くと手をふってくれる生徒がいて、内々うれしい。
- ・読み聞かせを毎週木曜日に実施しているが、よく聞いてくれる。ボランティアのメンバーも朝から元気をもらっている。学年によって感じ方や返ってくる言葉が違うので、それをふまえた上で選書するようにしている。今、メンバーは足りているが、今後若い方にも声かけしていきたいと思っている。
- ・学力についての話が合ったが、学級の人数は少ない方が、学力の格差が少なくなり、全体の学力が上がるのか。

→今年度の5・6年生は過密学級になっているので、算数や国語は少人数学習に取り組むことで、学力向上に努めている。

(3) 鈴鹿市教育委員会アドバイザーより

- ・学校関係者評価を書くのは、資料を読んだり評価を書いたりするのに時間もかかり、とても大変なことをお願いしている。清和小学校のこの1年間の取組はどうだったのか、継続したらいいのか改善したらいいのか、委員のみなさんに諮りたい。すべての項目について記入しなくてもよい。無理のない範囲で、書けるところを書いていただきたい。
- ・清和小学校の良さの1つに、地域学習への取組が挙げられる。子どもたちは地域について学ぶことで愛着をもち、将来地域を盛り上げたいと思う素地につながる。地域学習を受け入れる側も大変だと思うが、今後も続けていただきたい。

(4) 連絡事項

- ・メール配信システム登録のお願い
- ・第7回学校運営協議会 2月13日(金)
- ・2月授業参観について